

体育

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	スポーツⅤ	2	2年次・C2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
学習プリント（自作教材）				履修条件は特になし

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、野外の運動の楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付ける。	「する、みる、支える、知る」など、自己や仲間が多様に「スポーツⅤ」と関わる上で文化的、社会的、経済的側面など多角的な視点での課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通じたスポーツの継続やスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
	1				
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1 野菜 ・菜園の土づくり ・夏野菜	4	・自然の中における正しい行動の仕方や協力する大切さを理解する。	1 2
			5	・土壌改良の必要性をワークシートにまとめさせて、理解する。	1 2 3
		2 アルコールストーブ ・アルコールストーブ作成 ・テスト	6	・アルコールストーブの原理を理解させ、製作方法を身に付ける。	1 2
				・アルコールストーブを製作し、正しく点火する。	1 3
		3 火おこし ・フェザースティックの制作 ・ファイヤースターター、チャークロス ・テスト	7	・火を起こす原理について理解させる。	1 2
				・仲間と協力しながら、フェザースティックの製作に取り組む。	1 2 3
				・公正にテストに取り組み、点火までの技能を身に付ける。	1 3
	2 学 期	4 ロープワーク ・動画視聴 ・シベリアンヒッチ、自在結び、エイトロック、プルージック、もやい結び、中間者結び、トラッカーズヒッチ ・復習	9	・ロープワークの動画を視聴し、多様な結び方を理解する。	1 2
				・ロープワーク作業を動画で撮影し、素早く結べるように改善を図る。	2 3
				・実生活におけるロープワークの活用方法について考える。	2 3
		5 冬野菜	10		
		6 野外料理 ・計画、料理	11	・夏野菜の経験を生かして、冬野菜の栽培に主体的に取り組む。	2 3
			12	・野外料理を計画し、安全に料理をする。	1 2 3
		7 危機管理		・危機回避の際の行動及び事故発生時の要因について理解する。	1 2 3

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

3 学 期		8 ハイキング ・コースの作成 ・実践	1	・ハイキングの効能を理解する。 ・自己や仲間の健康や体力に応じたコースを考える。	1 2 2 3		
		9 サイクリング ・コースの作成 ・実践	2	・野外運動の関わり方を理解する。 ・仲間と協力して主体的に取り組む。	1 2 3		
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	○スポーツVの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能や野外の運動に関する各種技能を身に付けることができる。 ○スポーツVを通してスポーツを推進及び発展するための事項を理解することができる。 ○他者と学びあう場面で、基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言語で他者に表現できる。		○映像や記録など客観的なデータから、動きの改善点の妥当性やより効果的な改善策について分析したことを、根拠を示し伝えている。 ○仲間で分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。 ○発見した動きの改善点や、効果的な改善策について、活動場面で判断し仲間に伝えている。 ○仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付け、仲間に伝えている。 ○運動やスポーツを継続し、地域へ参画したりするための条件や支援の在り方など、社会的課題に向けた改善策を提案している。		○地域への参画や仲間づくりなどのスポーツを推進及び発展するためのスポーツの価値を高める学習に意欲をもとうとしている。 ○公正、協力、責任などのスポーツの持続可能性及び規範を遵守する社会の創造に寄与する学習に意欲をもとうとしている。	
	手 段	・実技テスト ・個人記録		・活動中の行動の観察		・授業中の態度の観察 ・出席状況	
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法			・実技種目ごとに実技テストを実施する。出席・態度・意欲を平常点とする。			
学習上の留意点		・実技を中心としているため出席を重視する。 ・速やかに更衣を行い、授業開始に遅れないようにする。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現させる。また、自分やグループの課題に挑戦させる。 ・仲間を大切にし、ルールやマナーを守り、人間関係を形成させる。					